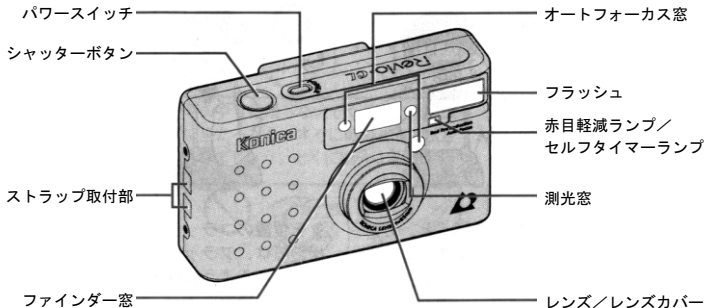
Konica　Revio・CL

ご使用前に必ず
お読みください。

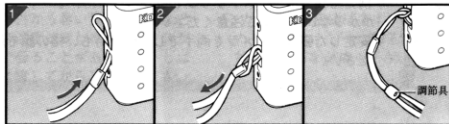
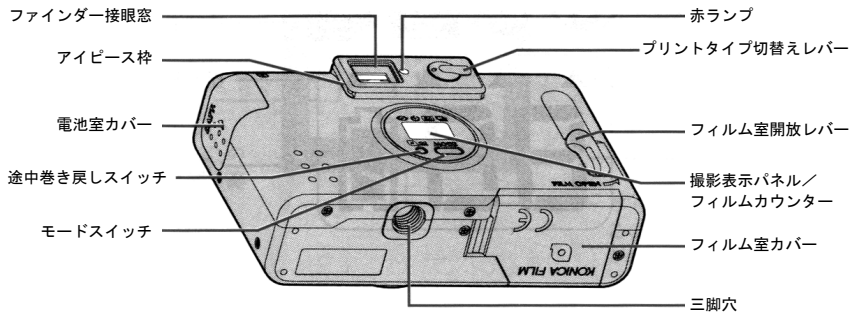
使用説明書

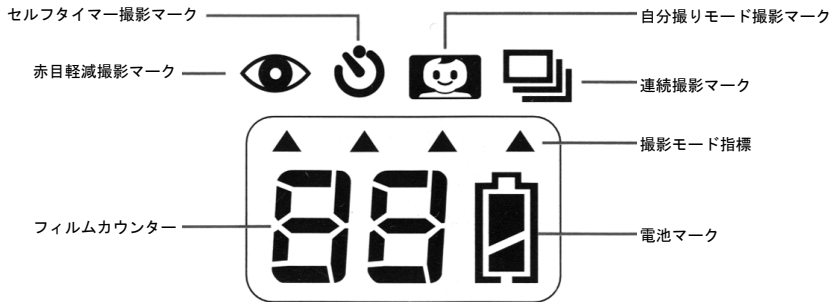
各部の名称

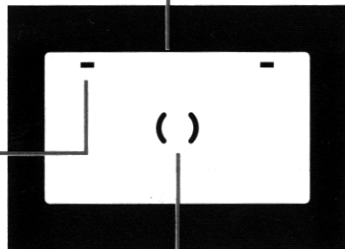
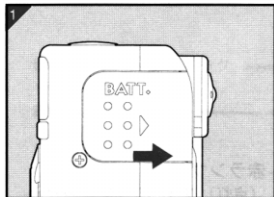
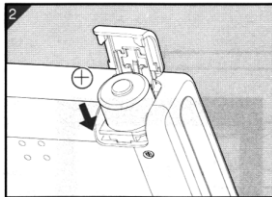
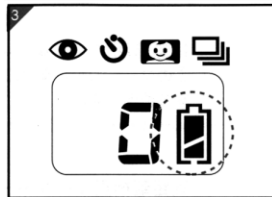
パワースイッチ
シャッターボタン
ストラップ取付部
ファインダー窓
オートフォーカス窓
フラッシュ
赤目軽減ランプ／
セルフタイマーランプ
測光窓
レンズ／レンズカバー

ストラップの取付け方

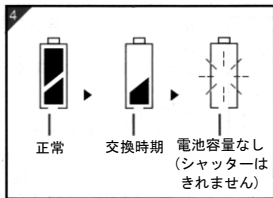
ストラップ取付部にストラップ先端の細いヒモの部分を通し、通したヒモの輪にもう一方のストラップの端を通して、引っ張ってください。

＊ 調節具の突起部は、フィルムの途中巻き戻しをする際スイッチを押すときにご使用ください。

ファインダー接眼窓
アイピース枠
電池室カバー
途中巻き戻しスイッチ
モードスイッチ
赤ランプ
プリントタイプ切替えレバー
フィルム室開放レバー
撮影表示パネル／
フィルムカウンター
フィルム室カバー
三脚穴

撮影表示パネル

＊図は全ての液晶を点灯状態で示してあります。

ファインダーと表示ランプ

＊Ｈタイプの撮影フレームで説明いたします。

1. 電池の入れ方

電池室カバーを矢印方向へスライドさせると、カバーが開きます。

電池の＋、－を電池室内の表示に合せて正しい向きで入れ、電池室カバーを閉めてください。

パワースイッチを押して電源をONにし、撮影表示パネルを確認してください。
電池マークが黒く点灯していれば、電池容量はOKです。

⚠警告	爆発して大けがの危険があります。電池を火の中に入れたり、ショート、分解、加熱、充電をしないでください。
⚠警告	電池は乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと死亡する危険があります。

使用電池は、リチウム電池(CR2：3V)1本です。

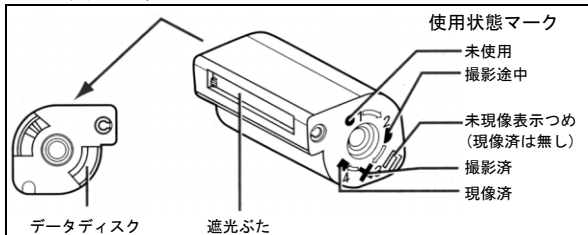
* 撮影途中で電池マークが2/3白くなったら、最後まで撮影してフィルムを巻き戻した後、電池交換してください。
* 長期間の旅行や、たくさん写真を撮影するときには、予備の電池をご用意することをおすすめします。
* 連続してフラッシュ撮影すると電池容量が少ない表示になり、自動的にパワーOFFになることがあります。この場合、しばらく待ってから電源ONにしてください。電源ONにしたときに、電池容量が十分な表示になれば、そのまま撮影が続けられます。
* 寒冷地では電池の性能が低下しますので、カメラを保温しながらご使用ください。まれに、電池の容量が十分でも、容量が少ない表示になることがあります。

電池交換するときのご注意

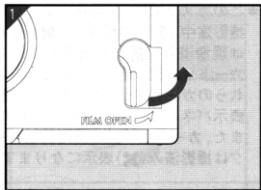
1) 電池交換するときは、必ず電源をOFFにしてから行ってください。
2) 電池マークが全部白くなると、シャッターがロックされます。
3) 新品電池に交換後に電源ONしても、電池マークが全部白くなる場合は故障です。当社サービスステーションにお持ちください。

2. カートリッジの入れ方

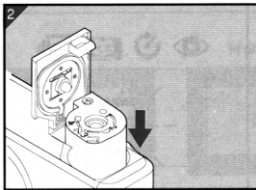
＊IX240カートリッジフィルム(ISO100/200/400)をご使用ください。

カートリッジフィルムについて

＊ APSフィルム(IX240カートリッジフィルム)は、従来のフィルム(J135フィルム)と互換性はありません。

＊ このカメラでは、使用状態マークが◗(撮影途中)、✖(撮影済)または■(現像済)を表示しているカートリッジは使用できません。使用状態マークが●(未使用)のカートリッジをご使用ください。

- ⃠ カートリッジは分解しないでください。
- ⃠ 遮光ぶたを開けないでください。
- ⃠ 使用状態マークおよびデータディスクを動かさないでください。
- ⃠ 使用状態マークの未現像表示つめを折らないでください。
- ⃠ カートリッジを磁石やスピーカーなどの電気製品の近くに置かないでください。

フィルム室開放レバーを矢印方向へ回してください。

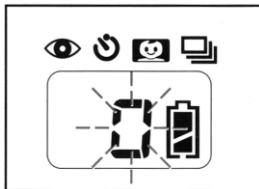
フィルム室カバーが開きます。

* 使用状態マークが●(未使用)以外のカートリッジは使用しないでください。

カートリッジを、使用状態マーク側を上にして入れ、フィルム室カバーをカチッというまで確実に閉じてください。自動的にフィルムを送り始めます。

⦸ カートリッジは逆向きなど無理な力で入れないでください。

* カートリッジを入れると、フィルムの感度(ISO100/200/400)が自動的にセットされます。

その後フィルムは１枚目の撮影位置で自動停止します。

＊ フィルムカウンターは残りの撮影できる枚数(規定撮影枚数)を表示します。

もし、フィルムが正しく送られなかったときは、撮影表示パネルには“0”が点滅します。

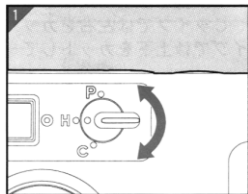
＊ この場合このカメラでは、未使用でもカートリッジの使用状態マーク(●)は撮影済み(✖)表示となり、再使用はできなくなります。

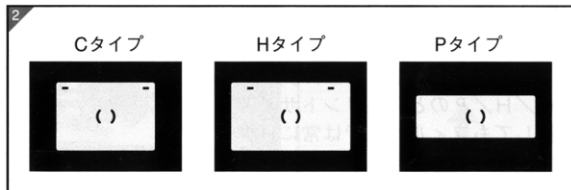
＊ このカメラでは、使用状態マークが撮影途中(◗)、撮影済み(✖)または現像済み(■)を表示しているカートリッジは使用できません。これらのカートリッジを入れると撮影表示パネルには“0”が点滅します。
また、カートリッジの使用状態マークは撮影済み(✖)表示になります。

⃠ 撮影途中のフィルムがカメラに入っているときにフィルム室カバーを無理に開けないでください。

3. プリントタイプの切替え

＊１本のフィルムの途中で、３種類のプリントタイプの切替えができます。

＊このカメラでは、C/H/Pの３種類のプリントタイプを選択することができます。

プリントタイプ切替えレバーを動かして、ご希望に応じてプリントタイプを切替えてください。

＊ レバーの指標をC/H/Pのいずれかの文字(○印)に合せてください。○印以外の位置ではシャッターがきれない場合があります。

ファインダー内の撮影範囲フレームが切替わります。

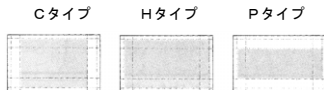
＊ 図の青い部分がそれぞれの写る範囲です。

＊ Ｃタイプは従来のプリントサイズ、Ｈタイプはワイドなハイビジョンサイズ、Ｐタイプはパノラマサイズです。

＊ Ｐタイプの撮影画面では、被写体から２m以上離れて撮影することをおすすめします。

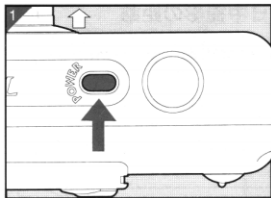
プリントタイプの切替えについて

選択したプリントタイプは、撮影時にフィルム上に光学記録されます。
C/H/Pのどのプリントサイズを選択してもフィルム上では常にHタイプの画面サイズで写し込まれますが、プリントの際には、光学記録したデータに基づき､選択されたプリントタイプでプリントされます。
(ネガカラーフィルム使用の場合)

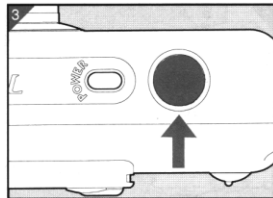
＊ Hタイプのプリントでは撮影画像がほぼそのままプリントされ、Cタイプでは左右をカットして、またPタイプでは上下をカットしてプリントされます。

＊ 3種類のプリントの縦横比は、下表のようになります。
(標準的縦横比)

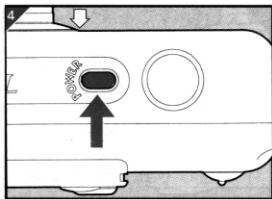
プリントタイプ	縦：横
Cタイプ	2：3
Hタイプ	9：16
Pタイプ	1：3

4. 撮影方法（一般撮影）

＊すべての撮影に共通する基本的な操作手順をＨタイプの撮影画面で説明します。

パワースイッチを押すと電源がONになります。
電源ONでレンズが撮影位置まで繰り出して、撮影表示パネルの液晶が点灯します。

＊ 前面のレンズが汚れていたら、柔らかい乾いた布で軽く拭き取ってください。

ファインダーをのぞき、ピントを合わせたい被写体にオートフォーカスフレームを合わせます。

シャッターボタンを深く静かに押し込み、シャッターをきってください。

＊ 撮影が終わるとフィルムが１コマ自動的に送られ、フィルムカウンターの数字が１つ減算されます。

撮影が終わったら、パワースイッチを押して電源OFFにしてください。レンズが収納されレンズカバーが閉まります。

* 電源OFFで撮影表示パネルの液晶は全て消灯します。

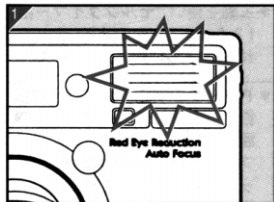
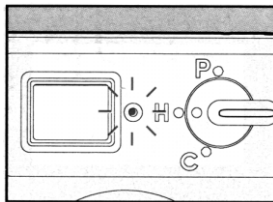
* 電源ONのまま約3分間操作をしないと、自動的にレンズが収納されレンズカバーが閉まり、電源OFFとなります。

日中撮影の距離

撮影距離：0.6m～∞

撮影距離が0.6m～１mのときは近距離撮影になります。

5. 自動フラッシュ撮影

＊暗いときはフラッシュが自動的に発光します。

暗い所でシャッターをきると自動的にフラッシュが発光します。

フラッシュ撮影後の赤ランプ点灯は、充電中ですからこの間シャッターはきれません。

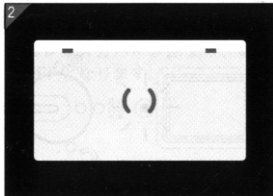
フラッシュ撮影の距離
(ネガカラーフィルム使用の場合)

フィルム感度	撮影距離
ISO100	0.6m～2.5m
ISO400	0.6m～5.0m

＊ 人物のフラッシュ撮影には、赤目軽減撮影(29ページ)をおすすめします。

6. 近距離撮影

＊0.6mまで近づいて近距離撮影ができます。

0.6m～1mに近づいてピントを合わせたい被写体にオートフォーカスフレームを合わせます。

ファインダー内の近距離補正マークより下側で構図を決め、シャッターボタンを押してください。

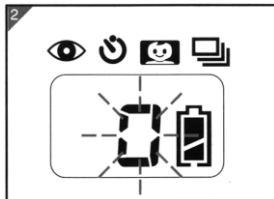
＊ 図の青い部分が写る範囲です。

＊ 三脚を使い、セルフタイマー撮影をすると、カメラぶれを防げます。

＊ Ｐタイプの撮影画面で近距離撮影するときは、撮影フレーム範囲いっぱいに被写体を入れるとプリント時に被写体の一部がカットされることがありますので構図の上側に余裕をもたせて撮影してください。

7. カートリッジの取り出し方

フィルムの規定枚数の撮影が終わると、自動的に巻き戻しが始まります。

＊ フィルムカウンターは巻き戻しに連動して、撮影した枚数から数字を減算していきます。

巻き戻しが完了すると自動的に停止し、撮影表示パネルに“0”が点滅します。
“0”点滅を必ず確認してから、フィルム室カバーを開けてカートリッジを取り出してください。

＊ “0”が点滅する前にフィルム室カバーを開けると、カメラが故障したり、フィルムが感光する恐れがあります。

＊ 低温時にフィルムの巻き戻しが途中で止まり、フィルムカウンター表示が点滅したときは常温で電池交換後、途中巻き戻しをしてください。

＊ 写し終わったカートリッジは、お早めに下記マークのあるAPSの現像プリントサービス認定店にお出しください。

＊ 現像プリントサービス認定店ではAPS独自の各種プリントサービスが可能です。詳しくは店頭でお尋ねください。

途中巻き戻し方法

途中巻き戻しスイッチをストラップ調節具の突起部で押すと、撮影途中のフィルムの巻き戻しができます。

* フィルムカウンターは、巻き戻しに連動して撮影済みの枚数から数字を減算していきます。

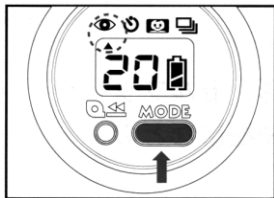
* 巻き戻し後の手順は、自動巻き戻しの場合と同じです。

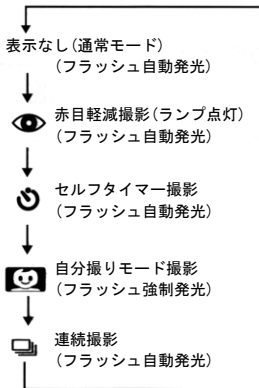
* このカメラでは、途中巻き戻しして取り出したカートリッジの使用状態マークは✖(撮影済)となり、再使用はできません。

応用撮影

撮影モードの切替えによる赤目軽減撮影、セルフタイマー撮影、自分撮りモード撮影、連続撮影などの応用撮影について説明いたします。

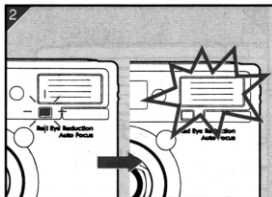
8. 撮影モードの切替え

＊被写体に応じて最適な露出方法を選択できます。

モードスイッチを押す毎に撮影モード指標(▲)が各撮影モードのマークを順次示し、循環します。

撮影モードの循環

＊ 一度設定した赤目軽減撮影モードと連続撮影モードは固定され、そのまま撮影が続けられます。
撮影が終わったら表示なし(通常モード)に戻しておいてください。また、電源をOFFにするとモードは解除され、再度電源をONにすると表示なしに戻ります。

＊ セルフタイマー撮影モードと自分撮りモードは、撮影毎にモードは解除され表示なし(通常モード)に戻ります。

9. 赤目軽減撮影　フラッシュ自動発光

モードスイッチを押して撮影モード指標（▲）を👁マークに合せます。

シャッターボタンを押すと赤目軽減ランプが点灯した後にフラッシュが発光して撮影が終わります。

＊ 赤目軽減ランプが点灯してからフラッシュ発光までは約１秒かかります。この間、カメラを動かしたり、撮られる人が動かないようご注意ください。
＊ 明るい所では赤目軽減ランプ点灯とフラッシュ発光はしません。

赤目現象とは…

暗い場所で人物のフラッシュ撮影をしたときに、フラッシュ光が目の網膜に反射して目が赤く輝いて写ることがあります。これを赤目現象といいます。
このモードでは、赤目軽減ランプで瞳孔を小さくした上でフラッシュが発光しますので、赤目現象の発生を軽減します。

効果的な被写体

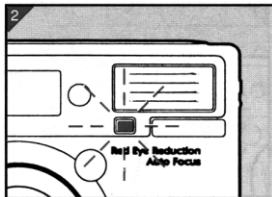
暗い場所での人物のフラッシュ撮影。

＊ 赤目軽減効果の度合いには個人差がありますが、赤目現象を起こりにくくするには、

① 撮られる人に、視線をランプの方へまっすぐに向けてもらう
② 撮りたい人になるべく近づいて撮影する

などしてください。

10. セルフタイマー撮影 フラッシュ自動発光

モードスイッチを押して撮影モード指標（▲）を⏱マークに合わせます。

シャッターボタンを押すとセルフタイマーがスタートし、約10秒後にシャッターがきれます。

＊ セルフタイマーのスタートと同時にセルフタイマーランプが約７秒間点滅した後、約３秒間点灯してシャッターがきれます。

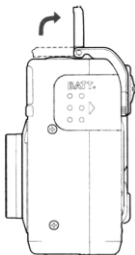
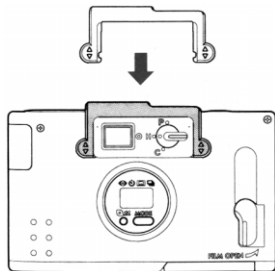
＊ 三脚をご使用ください。
＊ シャッターボタンはカメラの後側に立って押してください。前側からでは正しいピント、露出が得られません。
＊ セルフタイマーの作動をキャンセルしたいときは、パワースイッチを押して電源をOFFにしてください。
＊ 撮影終了でモードは解除されます。続けてセルフタイマー撮影する場合はセットし直してください。

11. 自分撮りモード撮影　フラッシュ強制発光

●自分撮りミラーアダプターの取付け方

（付属のミラーアダプターをカメラ本体に取付けて撮影します。）

1. ミラーアダプターをカメラ背面のアイピース枠にはめ込み固定させます。

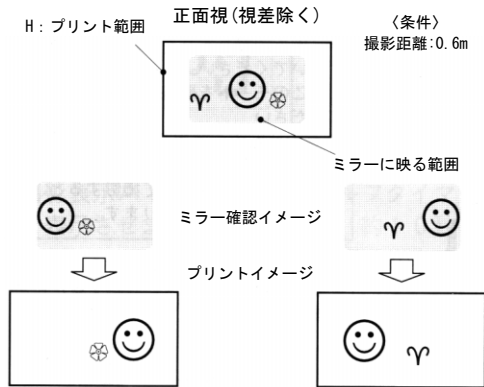
2. 撮影の際は、ミラーを起こしてください。

自分撮りモード使用上のご注意

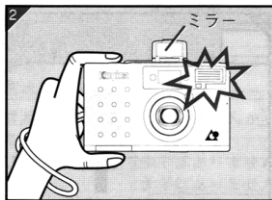
⦸ フラッシュ発光で目を痛める危険があります。次のことを必ずお守りください。
- ・乳幼児と一緒に撮影しないでください
- ・撮影距離を50cm以下では使用しないでください
- ・このモードを連続して使用しないでください

⦸ 車の運転中に使用しないでください。事故の原因となります。

● フラッシュを見つめて撮影すると、目に残像が残る場合があります。

＊ ミラーアダプターを取付けたままでも、ミラーを倒せばカメラケースに収納することができます。

●撮影範囲
(ミラーで確認できる範囲は下図を参考にしてください)

* ミラー確認は、ミラーの正面から見た場合に撮影画像と対応させたもので、ミラーの正面以外から見た場合は、実際の構図と異なります。
* 図のように、ミラーに映った構図と実際のプリントは左右が逆になります。
* ミラーで構図を決める場合は、おおよその目安としてお使いください。また、構図に余裕をもたせるには、Hタイプの撮影フレームで撮影することをお勧めします。
* C,Pタイプの撮影フレームで撮影した場合、ミラーで確認した範囲内でも、プリント時に被写体の一部がカットされることがあります。
* ピントの合う距離範囲は、約0.5m～0.9mです。

モードスイッチを押して撮影モード指標(▲)をマークに合わせます。

カメラは、レンズ側を自分の方へ向けて、ミラーで撮影範囲をご確認の上、シャッターボタンを押してください。
フラッシュが発光して撮影が終わります。

＊ 撮影終了でこのモードは解除されます。

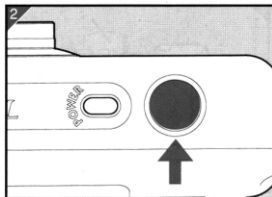
＊ ピントの合う範囲は、約0.5m〜0.9mです。
撮影距離が0.5m以上となるよう、腕を伸ばしてカメラを持ってください。

＊ このモードで撮影する場合、手首にストラップを通し巻き付けるなどして、カメラを落とさないようにご注意ください。

＊ カメラぶれにご注意ください。

＊ フラッシュは、明るいところでも常に発光します。

12. 連続撮影　フラッシュ自動発光

モードスイッチを押して撮影モード指標(▲)を❏マークに合せます。

被写体に向けてシャッターボタンを押し続けると、約0.5秒間に１コマの連続撮影ができます。

＊ 指を離すと撮影は終わります。

効果的な被写体

①動きのある被写体
（走っている人物など）

＊ １コマ目で露出とピントが固定されますので、極端に明るさや距離が変わる撮影では、途中で露出やピントが正しく合わなくなる場合があります。

＊ フラッシュ発光時やシャッター速度が遅くなるときは、撮影間隔は長くなります。

おもな仕様

＊下記性能については当社試験条件によります。
＊製品の仕様、外観については予告なく変更することがあります。

項目	仕様
形　式	IX240 レンズシャッター式フラッシュ内蔵カメラ
画面サイズ	16.7×30.2mm
レンズ	コニカレンズ f＝25mm F 6.7（3群3枚）、レンズカバー付
パワースイッチ	電源ＯＮでレンズが繰り出しレンズカバーが開く、電源ＯＦＦでレンズが収納されレンズカバーが閉じる、電源ONのまま約3分間操作をしないと自動的に電源OFF
シャッター	絞り兼用プログラムシャッター
焦点調節	赤外光ノンスキャンアクティブ式自動焦点（光量測距方式）、通常撮影範囲：0.6m ～∞、自分撮りモード撮影時：約0.5m ～ 0.9m
露出調節	CdS 受光素子使用プログラム AE
露出連動範囲	ＩＳＯ100 フィルム使用時　ＥＶ12（F6.7　1/80）・EV14（F8　1/250）
フィルム感度	自動設定（ISO100/200/400）
ファインダー	アルバダ式逆ガリレオファインダー、オートフォーカスフレーム、近距離補正マーク（Ｃ／Ｈタイプのみ）、ファインダーわきに赤ランプ（点灯：フラッシュ充電中表示）
フラッシュ	手ぶれ限界の低輝度時に自動発光するフラッシュマチック機構、発光間隔・約１０秒、連動範囲・（ISO100、ネガカラーフィルム使用時）0.6m～2.5m、充電中は赤ランプ点灯表示
プリントタイプ	プリントタイプ切替えレバーによりファインダー内の撮影範囲フレームをＣタイプ，Ｈタイプ，Ｐタイプの３種類に切替え、フィルム途中の切替え可能、プリントタイプは撮影時にフィルムに自動的に光学記録

モード切替え	：赤目軽減撮影、セルフタイマー撮影、自分撮りモード撮影、連続撮影の各モードを選択可能（撮影表示パネルに表示）
セルフタイマー	：電子式、作動時間・約10秒、セルフタイマーランプが約7秒間点滅した後に約3秒間点灯、途中解除可能
フィルム給送	：電動式、フィルム室カバーを閉じるとスタートするワンタッチドロップインローディング、自動巻き上げ、フィルム規定撮影枚数の撮影終了で自動巻き戻し、巻き戻し後自動停止、途中巻き戻し可能、カートリッジ途中交換機能なし
フィルムカウンター	：減算式、撮影可能枚数を撮影表示パネルに表示
使用温度範囲	：-10℃～＋50℃
電池寿命	：50％フラッシュ発光のとき約12本（25枚撮りフィルム）
電　源	：リチウム電池（ＣＲ２・３Ｖ）１本
大きさ	：96×58×27.5mm
質量（重さ）	：132 g（電池別）